

日本のトップクラスの経営者365人による  
メッセージ掲載集「仕事の指針・心の座標軸」  
(PHP研究所)に秋野卓生弁護士の  
メッセージが掲載されました。

2006年トップが語る  
仕事の指針心の座標軸  
未来を拓く君たちへ

PHP研究所  
E

12月12日

December

## 一生懸命誠実に働く事

匠総合法律事務所代表 弁護士

秋野卓生

私が弁護士登録をしたのは、二十四歳の時である。勤務先の法律事務所から最初に与えられた仕事は、訴額が一億を超える株主代表訴訟だった。初めてミーティングルームに入ると、被告として訴えられた五十歳過ぎの取締役たちが青ざめた表情で座っていた。無理もない。サラリーマン取締役が一億もの損害賠償をできる訳がないからだ。

当初はボス弁(経営者弁護士)と一緒に対応していたが、すぐにボス弁が入院してしまい、私が一人で対応する事となった。童顔の私がミーティングルームに入ると依頼者の取締役たちが不安そうな顔を浮かべた。この表情を見て、私自身、「依頼者に信頼されるためにどうすればよいか」という弁護士として極めてシンプルな命題に真剣に対峙しなければならなかった。

頭髪を白く染めてやろうかとか急激に太って貫禄を付けようか等、今から思えば笑ってしまうような事も考えたが、必然的に出た結論が、その分野の法律・判例をはじめ、ありとあらゆる文献を時間をかけて一生懸命検討し、依頼者のために一生懸命法律構成を考え、依頼者にとって最良のリーガルサービスを提供するという執務姿勢である。

現在は、住宅・建築紛争や住宅部品特許紛争の専門弁護士として、多くの依頼者の方々から信頼を頂けるようになったが、この依頼者のために一生懸命誠実に働くという執務姿勢は、今も徹底的に貫いている。